

# 新入生アンケートに見る平成20年度 入学生の特徴および6年前との比較

櫻本 逸男<sup>\*1</sup> 吉本 幸代<sup>\*2</sup> 中川 明子<sup>\*3</sup>  
義永 常宏<sup>\*4</sup> 秋吉 康光<sup>\*5</sup>

## The Characteristics of the Freshmen in 2008 Based on the Results of a Questionnaire ---In Comparison with the Freshmen in 2002---

Itsuo SAKURAMOTO, Sachiyo YOSHIMOTO, Akiko NAKAGAWA,  
Tsunehiro YOSHINAGA and Yasumitsu AKIYOSHI

### Abstract

Nine years have passed since the school counselors' office was established at Tokuyama College of Technology in 1999. The office has been supporting the students proactively rather than reactively for six years, putting an emphasis on community work. Six years ago, the office started to use a questionnaire to the freshmen inquiring about their worries, motivation to study and so on as a means of the proactive support. The office used the same questionnaire in April this year for the seventh time so as to help the freshmen to adapt themselves to the new environment.

This report comparatively analyzes the results of the questionnaire given to the freshmen in 2002 and in 2008 and points out some of their characteristics that should be noted, focusing on three different departments they are in and gender.

**Key Words :** proactive support, reactive support, adapt, new environment, questionnaire

### 1. はじめに

徳山高専学生相談室では、平成13年度から「学生相談室プログラム」※の一環として新入生アンケートを実施している。

この新入生アンケートの目的は、中学という義務教育機関を卒業し、高等専門学校という高等教育機関に入学したばかりの学生が、これまでと全く異なる新しい環境にできるだけうまく適応できるように援助するための資料を得ることである。

平成13年から平成19年に引き続き、平成20年4月にも新入生に対して、全く同じ内容のアンケートを実施した。アンケート結果に基づき、入学当初より悩みを抱えている学生及び入寮した新入生全員に対して個別面談を実施した。

本稿は、平成20年度新入生の特徴を明らかにするとともに、平成14年度（現専攻科2年生）に実施したアンケート結果と比較分析し、本校に入学した学生の注意すべき傾向を、学科や性別に焦点を当てて考察するものである。

\*1 機械電気工学科

\*2 学生課学生係

\*3 土木建築工学科

\*4 情報電子工学科

\*5 一般科目（数学）

※学生相談室プログラムについては、国重、佐々木<sup>1)</sup>や佐々木、国重<sup>2)</sup>に詳しく論じられている。

## 2. 新入生アンケートの項目と20年度の結果

新入生アンケートは、鳴澤(1998)<sup>3)</sup>の東京都立大学新入生対象アンケートを徳山高専用に修正し、作成したものである。

アンケートは、平成20年4月の学生相談室オリエンテーションにおいて実施した。学生相談室スタッフがアンケートを配布し、説明を行った後に学生に記入させ、その場で回収を行った。

アンケートは記名式で、全員共通に23の項目があり、寮生には6項目が追加されている。

対象は、平成20年度1年生130名(男子97名、女子33名；自宅通学生106名、寮生24名；機械電気工学科生(ME)40名、情報電子工学科生(IE)44名、土木建築工学科生(CA)46名)であり、119名から回収できた。

以下に、アンケートの質問項目と回答を示す。回答はパーセンテージで( )内に示してある。

### 2-1 新入生全員に対する質問

1. あなたは自宅から通学していますか、それとも寮生ですか。

自宅通学生(81.5)

寮生(18.5)

2. あなたは中学校時代にクラブ活動に参加していましたか。

はい(95.8) いいえ(4.2)

3. あなたが徳山高専に進学を決定したのはいつですか。

中学3年生の頃(67.2)

中学2年生の頃(24.4)

中学1年生の頃(5.9)

小学生の頃(2.5)

4. 徳山高専はあなたが第一に志望した学校ですか。

はい(92.4) いいえ(7.6)

5. あなたは徳山高専の本当に入りたかった学科に入れましたか。

はい(99.2) いいえ(0.8)

6. あなたが徳山高専に入学した動機は何ですか、次の該当するものすべての記号を○で囲んで下さい。

いいところに就職できる(71.4)

自分の志望に合っている(58.8)

自由な校風だから(45.4)

先生や親にすすめられた(28.6)

先輩・知人がいる(5.9)

他に入学するところがなかったから(5.9)

経済的な理由(5.9)

兄弟がいる(5.9)

通学の便がいい(4.2)

入学しやすい(3.4)

何となく(2.5)

7. あなたは中学校時代に満足のいく学校生活が送れたと思いますか。

とても満足している(52.5)

一応満足している(42.4)

あまり満足していない(5.1)

全く満足していない(0.8)

8. あなたは徳山高専に入学できて満足していますか。

とても満足している(62.2)

一応満足している(34.5)

あまり満足していない(3.4)

全く満足していない(0.0)

9. あなたが徳山高専に入学した目的は何ですか、次の該当するものすべての記号を○で囲んで下さい。

専門的な技術を身につけるため(82.4)

いいところに就職するため(58.8)

学生生活をエンジョイするため(39.5)

教養を高め人間的に成長するため(25.2)

専攻科や他の大学に進学するため(21.0)

先生や友人と交流するため(8.4)

何とはなしに(4.2)

10. 現在、あなたの勉強への意欲は次のどれですか。

一応意欲がある(42.9)

十分意欲がある(53.8)

あまりない(3.4)

全くない(0.0)

11. あなたは徳山高専での勉強についていけるかどうか不安ですか。

少し不安である(50.4)

とても不安である(47.9)

あまり不安ではない(1.7)

全く不安ではない(0.0)

12. 周りの新入生が自分より勉強面で優れているように思いますか。

少しそう思う(51.3)

強くそう思う(39.5)

あまりそうは思わない(8.4)

全くそうは思わない(0.8)

13. 自分には徳山高専で友人ができないののではないかと心配ですか。  
 少し心配である(42.0)  
 あまり心配ではない(36.1)  
 全く心配ではない(12.0)  
 とても心配である(9.2)
14. あなたは徳山高専での学生生活がどのくらい楽しみですか。  
 とても楽しみである(58.0)  
 少し楽しみである(40.3)  
 あまり楽しみではない(1.7)  
 全く楽しみではない(0.0)
15. あなたは自分が将来どんな職業につき、どんな人になりたいか、すでに心の中で決めていますか。  
 はい(54.6) いいえ(45.4)
16. あなたは中学時代に個人的に打ち明け話をしたり、相談に乗ってもらえるような同性の親友がいましたか。  
 はい(89.1) いいえ(10.9)
17. あなたは徳山高専に知り合いの人がいますか。  
 はい(84.9) いいえ(15.1)
18. あなたは徳山高専に個人的に打ち明け話をしたり、相談に乗ってもらえるような同性の親友がいますか。  
 はい(49.6) いいえ(50.4)
19. あなたはある程度親しくつき合っている異性の友人がいますか。  
 はい(38.7) いいえ(61.3)
20. 今までに、反抗して親を手こずらせたことがありますか。  
 はい(57.1) いいえ(42.9)
21. 今までに、失敗や挫折をしてすごく悩んだことがありますか。  
 はい(62.2) いいえ(37.8) 無回答(0.0)
22. 学生相談室で相談できるとしたら、あなたは次のどのような内容について相談してみたいですか。  
 勉強(65.5) 就職(34.5) 進学(33.6)  
 友人関係(14.3)  
 知らなかった人たちとの出会い(13.4)  
 徳山高専が自分に合っているか(10.1)  
 自分の性格(9.2) 恋愛(6.7)  
 体の健康(5.9) 心の健康(3.4)  
 家庭(1.7) 性(0.0)

## 2.2 寮生のみに対する質問

24. 寮生活全般に関して不安を感じていますか。  
 少し不安である(66.7)  
 あまり不安ではない(16.7)  
 とても不安である(16.7)  
 全く不安ではない(0.0)
25. 家族から離れて一人で生活するので寂しく思えますか。  
 あまり寂しくない(50.0)  
 少し寂しい(44.4)  
 全く寂しくない(5.6)  
 とても寂しい(0.0)
26. 寮を出て自宅から通学したいですか。  
 あまり自宅通学したくない(50.0)  
 少し自宅通学したい(38.9)  
 全く自宅通学したくない(11.1)  
 是非自宅通学したい(0)
27. 現在、あなたは寮生活に関して学生相談室で相談してみたいような事柄や悩みがありますか。  
 はい(5.6) いいえ(94.4)
28. 27.で、「はい」と答えられた方へ、それはどのような事柄や悩みですか。複数回答可。  
 先輩との関係について(5.6)  
 一人暮らしについて(0)  
 寮の施設・設備について(0)  
 その他(0)

## 3. アンケート結果に見られる主な特徴

### 3.1 学科別の新入生の特徴

平成20年度新入生の学科別の特徴を調べるため、アンケート結果を学科別に比較した。

図1から図21に、学科ごとの特徴をグラフ化したものを示す。平成14年度と比較するため、平成20年度の結果と並べた。

以下、グラフから読み取ることができる特徴を述べる。なお、番号は2章と同じ質問番号を示している。

### 3. 徳山高専に進学を決定したのはいつですか。

ME, IE, CAの順に、早くから徳山高専に進学を決めている割合が多い。ロボコンなどの影響があるのだろうか。(図1) 現在行われている体験入学の参加者を中学1,2年生にも呼びかける必要があるかもしれない。

4. 徳山高専はあなたが第一に志望した学校ですか。

平成 14 年度と比較すると、ME と IE で結果が逆転しているが、ほぼ 90%以上の学生が徳山高専を第一に志望した学校であったことが分かる。

(図 2)

5. あなたは徳山高専の本当に入りたかった学科に入れましたか。

ほぼ 100%の学生が希望した学科に入学している。第二希望の学科から補充していないことから当然の結果ともいえる。(図 3)

6. あなたが徳山高専に入学した動機は何ですか。

「いいところに就職できる」は、他学科と比較すると IE がやや高くなっているが、全体的にあまり差はみられない。一番多い選択理由であり、高専の良好な就職状況を反映している。(図 4)

「経済的な理由」は、ME に選択した学生が少し多いが、ほとんどの学生は経済的な理由で高専を選んではいない。(図 5)

「先生や親にすすめられた」は、20 年度は CA に割合が高いが、4 分の 3 程度の学生が自分自身で希望学科を選んでいる。(図 6)

「自由な校風だから」は、14 年度は ME と IE が CA と比べて少ないが、20 年度は 3 学科とも同レベルであり、全体的に増加している。(図 7)

「自分の志望にあっている」は、両年度とも 2 番目に多い選択項目である。(図 8)

「なんとなく」は、今年度は ME、IE には一人もいない。全体的には、きちんとした動機をもって入学しているようだ。(図 9)

8. 徳山高専に入学できて満足していますか。

「徳山高専に入学できて満足」は、20 年度で CA が顕著に増加していることが特徴的である。(図 10)

9. あなたが徳山高専に入学した目的は何ですか

いずれの項目についても、14 年度と比較して、驚くほど同じ傾向を示している。(図 11~17)

80%以上の学生は専門的な学問・技術を身につけるために徳山高専に入学したと考えられる。ただ、「学生生活をエンジョイするため」が年度を問わず CA に多いのが特徴的である。(図 15)

10. 現在、あなたの勉強への意欲は次のどれですか

ほとんどの学生は、勉強に対して意欲的であることが分かる。特に、CA が 14 年度と比較して意欲の増加率が著しい。(図 18)しかし、これらは入学した時点の考えであり、入学後どう変化しているかを調査すると面白いかもしれない。

11. あなたは徳山高専での勉強についていけるかどうか不安ですか。

20 年度は、ME と CA は「とても不安である」、と答えた学生が半数以上を占めるが、IE ではそれが 25%程度である。「少し不安である」を含めると、勉強への意欲はあるが、ほとんどの学生が不安を抱えて入学していることが分かる。(図 19)

14. あなたは徳山高専での学生生活がどのくらい楽しみですか。

IE と CA の学生は「とても楽しみである」と答えた学生が多いが、ME はその割合が僅かながら低い。(図 20)

15. あなたは自分が将来どんな職業につき、どんな人になりたいか、すでに心の中で決めていますか

自分が将来どんな職業につき、どんな人になりたいか、すでに心の中で決めている学生は、CA が両年度ともに多い。就職先の業種等と関連があるのだろうか。(図 21)

### 3.2 男女別の新入生の特徴

平成 20 年度新入生の男女別の特徴を調べるため、アンケート結果を男女別に比較した。

図 22 から図 24 に、男女ごとの特徴をグラフ化したものを示す。また、平成 14 年度と比較するため、平成 20 年度の結果と並べた。

以下、グラフから読み取ることができる特徴を述べる。なお、番号は 2 章と同じ質問番号を示している。

10. 現在、あなたの勉強への意欲は次のどれですか。

14 年度、今年度ともに、勉強への意欲は男子より女子の方が僅かながら高いが、今年度は女子の意欲が非常に高いのが特徴的である。(図 22)

11. あなたは徳山高専での勉強についていけるかどうか不安ですか。

今年度は男女ともほとんど同じ傾向にあるが、一般的な年度では、女子の方が不安を抱えている場合が多いようである。(図 23)

12. 周りの新入生が自分より勉強面で優れているように思いますか。

「強くそう思う」、「少しそう思う」を合わせると、90%以上の学生がそう回答している。特に、女子は 100%の学生が周りの新入生が自分より勉強面で優れているように思っている。今年度は、14 年度に比べて、男子にそう思う傾向が強いようである。(図 24)

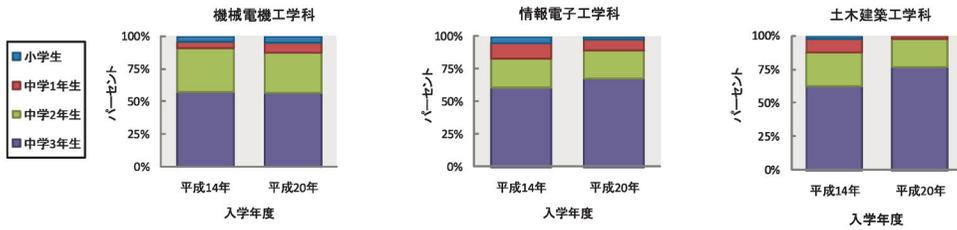


図1 あなたが徳山高専に進学を決定したのはいつですか

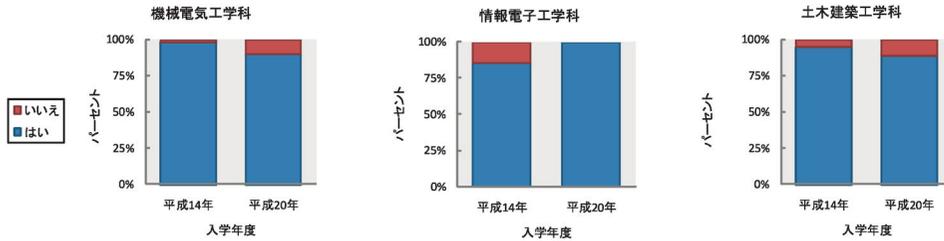


図2 徳山高専はあなたが第一に志望した学校ですか

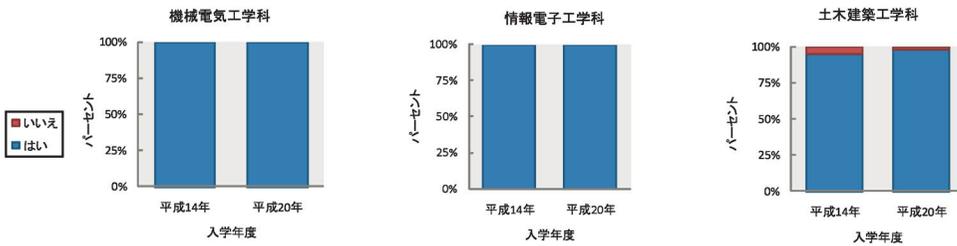


図3 あなたは徳山高専の本当に入りたかった学科に入れましたか

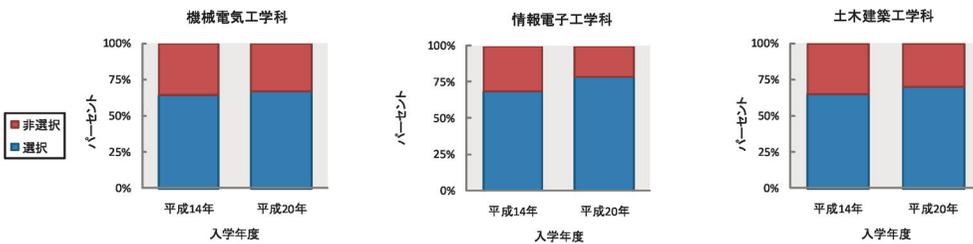


図4 入学の動機(よいところに就職できる)

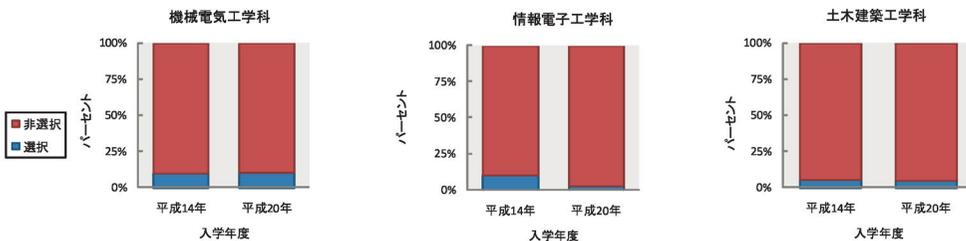


図5 入学の動機(経済的な理由)

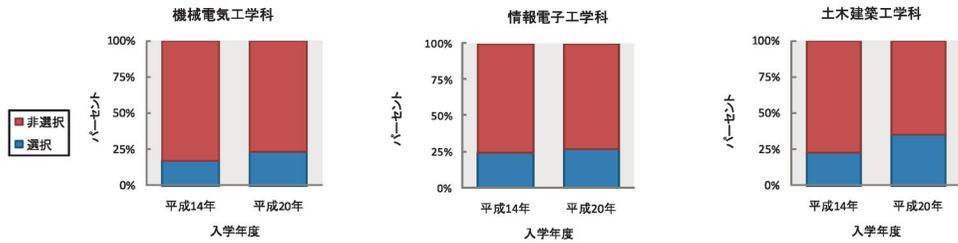


図6 入学の動機(親や先生にすすめられた)

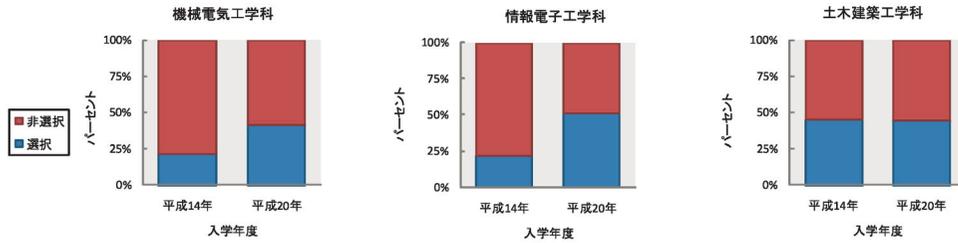


図7 入学の動機(自由な校風だから)

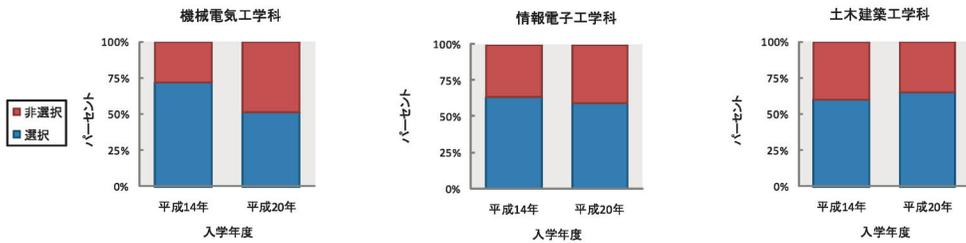


図8 入学の動機(自分の志望に合っている)

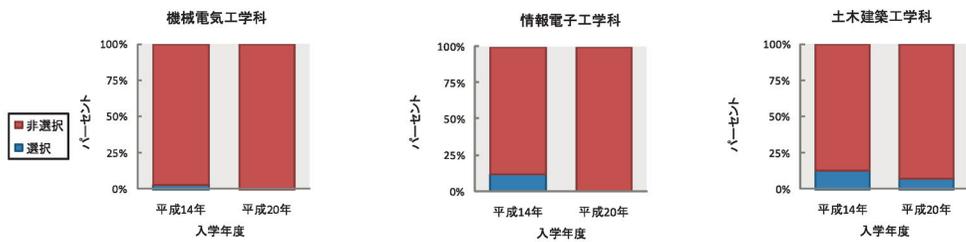


図9 入学の動機(なんとなく)

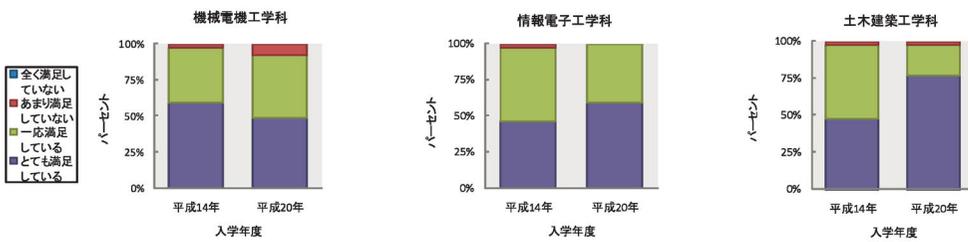


図10 あなたは徳山高専に入学できて満足していますか

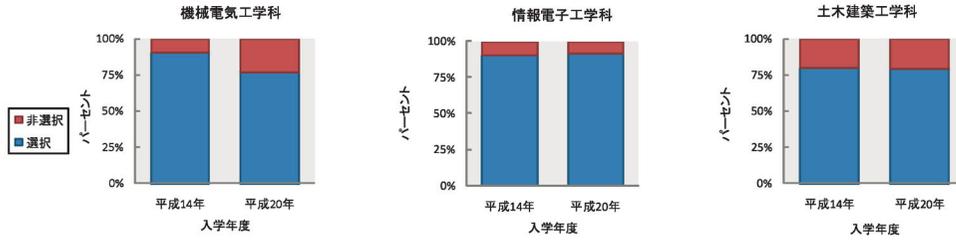


図11 入学の目的(専門的な学問・技術を身につけるため)

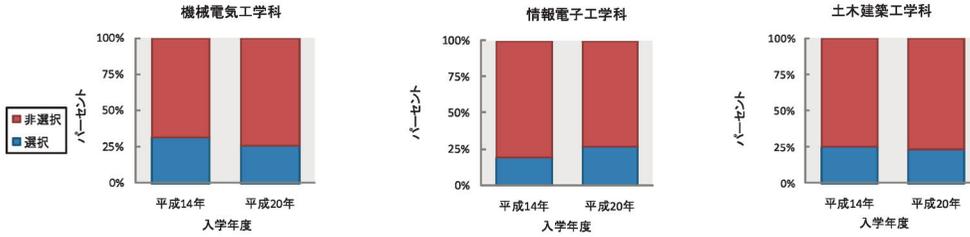


図12 入学の目的(教養を高め人間的に成長するため)

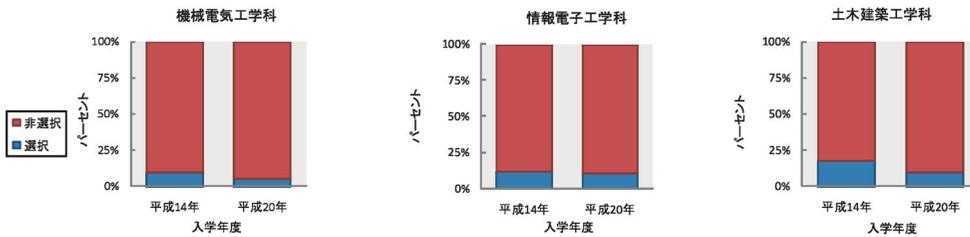


図13 入学の目的(先生や友人と交流するため)

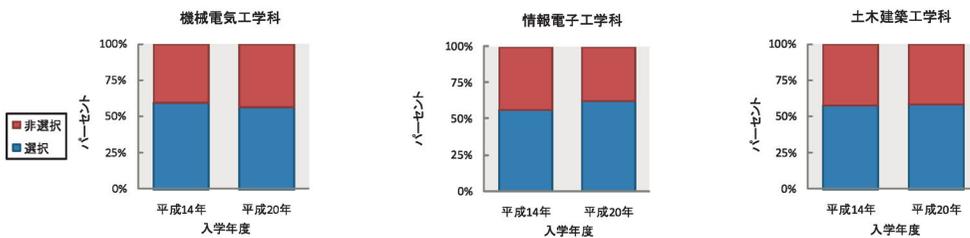


図14 入学の目的(いいところに就職するため)

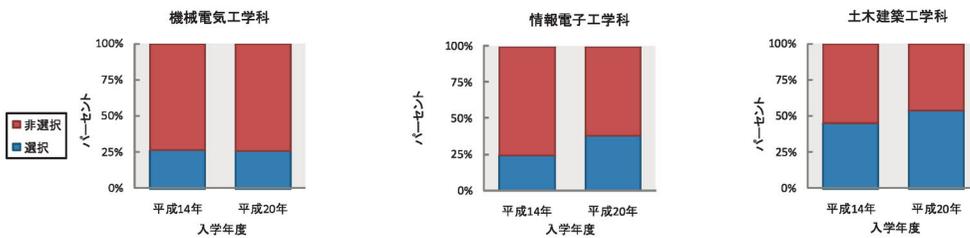


図15 入学の目的(学生生活をエンジョイするため)

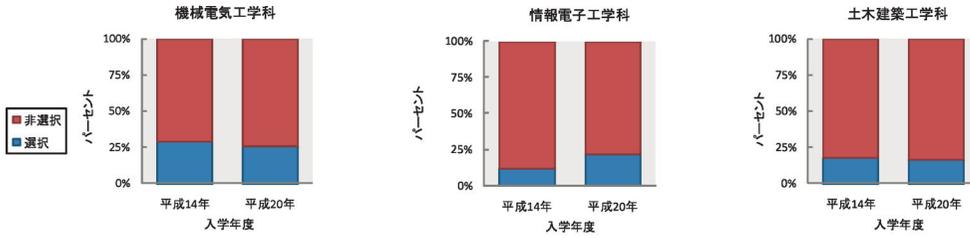


図 16 入学の目的（専攻科や他の大学に進学するため）

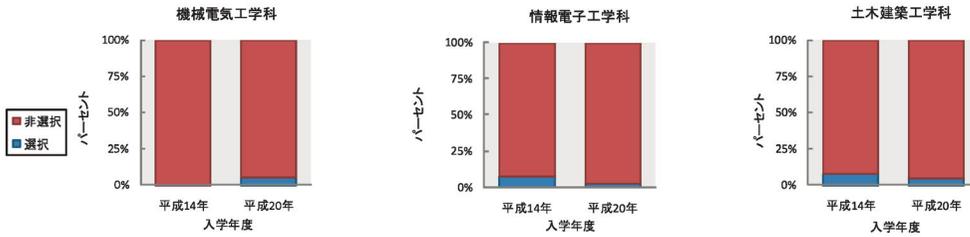


図 17 入学の目的(何とはなしに)

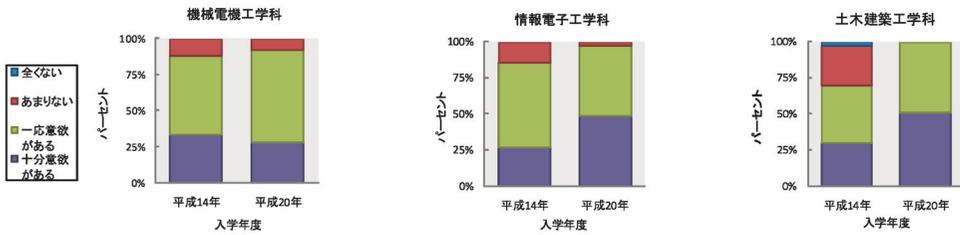


図 18 現在、あなたの勉強の意欲は次のどれですか

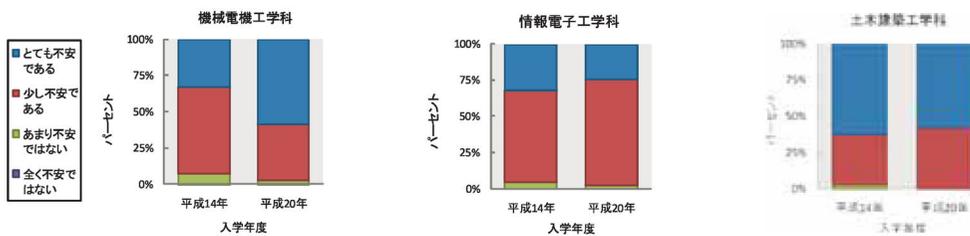


図 19 あなたは徳山高専の勉強についていけるかどうか不安ですか

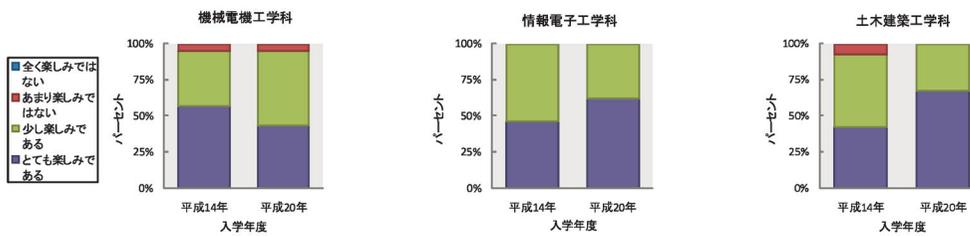


図 20 あなたは徳山高専での学生生活がどのくらい楽しみですか

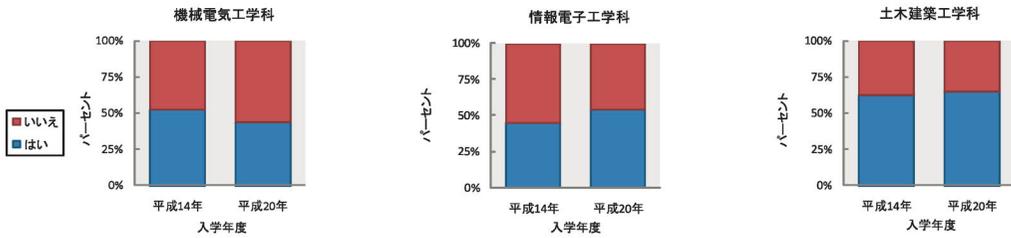


図 21 あなたは自分が将来どんな職業につき、どんな人になりたいか、心の中で決めていますか

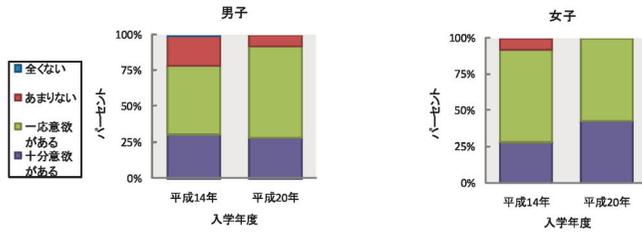


図 22 現在、あなたの勉強への意欲は次のどれですか

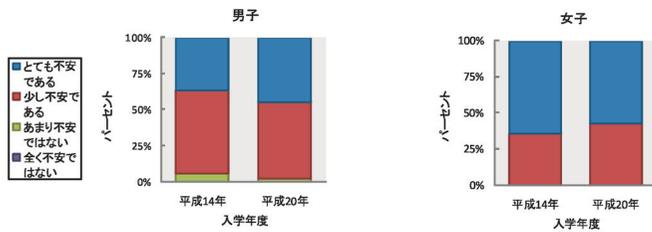


図 23 あなたは徳山高専の勉強についていけるかどうか不安ですか

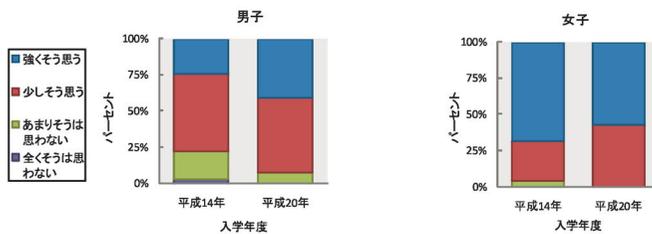


図 24 周りの新入生が自分より勉強面で優れているように思いますか

#### 4. まとめ

平成 20 年度新入生の特徴を明らかにするとともに、平成 14 年度(現専攻科 2 年生)に実施したアンケート結果と比較分析し、本校に入学した学生の注意すべき傾向を、学科や性別に焦点を当てて考察した。

過去の報告において、平成 14 年から平成 18 年度までのアンケートの結果の比較分析を行った<sup>4)</sup>。それらの結果と昨年度の結果<sup>5)</sup>を含めて比較を行っても、年度が異なるにも関わらず、アンケート結果は全体的に驚くほど同じ傾向を示している。したがって、これら一連の結果をデータとしてみた場合、非常に信頼性が高いものであると思われる。また、学生の感じ方が、僅かな差はあるもののそれほど変化していないということも見て取れる。ただし、男女間の比較に関しては、女子の方が学生数が少ないため、個性が出やすくなっていることに注意したい。

以下、特に気付いた点を列挙する。

- ME, IE, CA の順に、早くから徳山高専に進学を決める割合が多くなっている。ロゴコンなどの影響があるのだろうか。
- 本校を第一志望としていた入学生は全体の 9 割以上おり、そのほとんどが希望した学科に入学している。また、入学できたことを満足に思っている学生がほとんどである。
- 入学の動機で、「よいところに就職できる」を選んだ学生が一番多く、高専の良好な就職状況を反映している。また、入学目的も専門技術の習得と就職のためを選んだ学生が大部分である。一方、進学は 2 割程度である。
- 経済的な理由は、5%しか選択されておらず、むしろ専門技術教育を評価されていることが分かる。
- 入学の動機については、上級学校への進学よりも就職や自分の志望を目的とする学生が多い。何となくという選択はほとんどないことから、目的なしに入学したという学生はいないようである。
- 勉強への意欲については、一応意欲があるという回答を含めると、全体で 9 割程度の学生が意欲があると答えている。一般的に男子より女子の方が僅かながら高いが、今年度は女子の意欲が非常に高い。学科別では、14 年度に比較して CA の増加率が非常に高い。
- 勉強についていけるかどうかについては、ME と CA は「とても不安である」と答えた学生が 5 割以上を占める。勉強の意欲はある

が、不安を抱えて入学していることが分かる。

- 9 割の学生がまわりの学生が自分より優れていると思っており、入学当初はこの点においても不安を感じている。
- 「自由な校風だから」を選んだ学生が、14 年度と比較して全体的に伸びている。自由の捕らえ方が、6 年前と異なってきたのかもしれないが、学生の気質が変化していることも考えられる。
- 友人ができないのではないかと不安を感じている学生が 5 割程度いるものの、ほとんどの学生は高専生活に期待を抱いている。しかし、「あまり楽しみではない」や「全く楽しみでない」と答えた学生も数人いるので注意が必要である。
- 寮生活に関しては、4 月初めなので 8 割以上が不安を感じているものの、6 割が自宅通学はしたくないと回答している。寮には、もともと早くから親元を離れたと考えている学生が多く集まっているものと思われる。
- 学生相談室での相談希望事項は、勉強 66%、進路 69% (進学 34%、就職 35%)、交友関係 27% (友人 14%、出会い 13%) と続いており、勉強に関する不安が多いことがわかる。

最後に、これらの分析結果が学生指導の一助になれば幸いである。

#### 参考文献

- 1) 国重, 佐々木: 新入生アンケートを活用した入学時適応援助の方策について, 論文集「高専教育」, 第 25 号, PP. 455-460 (2002)
- 2) 佐々木, 国重: 高専における学生相談の具体的な活用策——心理検査を利用したキャリア・ガイダンスの試み——, 論文集「高専教育」, 第 25 号, PP. 461-466 (2002)
- 3) 鳴澤: 新入生の実態調査, 東京都立大学学生相談室レポート, 9, PP. 6-42 (1980)
- 4) 櫻本, 松尾, 国重, 原田, 日南住: 新入生アンケートに見る平成 18 年度入学生の特徴および過去 6 年間の結果分析, 徳山高専研究紀要, 第 30 号, PP.1-12(2006)
- 4) 櫻本, 廣林, 藤原, 重村, 国重: 新入生アンケートに見る平成 19 年度入学生の特徴および 6 年前との比較, 徳山高専研究紀要, 第 31 号, PP.1-10(2007) (2008. 9. 17 受理)